

イエス誕生の経緯

マリアは月が満ちて、男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである (ルカ2:6~7)

この箇所には重要な内容が二つ、第一は「マリア」

1

【父親】は《子》を産んだ
↓
マリア (母親) は《初子》を産んだ

この子の出生に、男は関係なし

出生から700年前の聖書預言
「見よ、処女が身ごもっている」

(イザヤ7:14)

2

「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。」

||

神が私たちと共におられる

この男の子は
神が人となられたお方である

3

この箇所が含む重要な内容の二つ目

そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである (ルカ2:6~7)

布とは？ 飼葉桶はどこに？

4

× 場所は馬小屋、布は産着
木造の家畜小屋や馬小屋ではない

家畜の収容場所は、洞窟
洞窟は、遺体の安置場所にも
布は、遺体に巻く布



この子は死ぬために生まれてきた

5

なぜ神が人となられ、死なねばならないのか

結論は

罪なきお方が
私たちの身代わりとなって
死んでくださり、
私たちが生きるため

出生から700年前の預言を見ます

6

預言の要点 5つ

A) メシアは成功し高められるが、その前に苦しみを受ける。この預言は世界に驚きをもって伝えられる。それをばかにした権力者たちも認めざるを得ない日が来る（メシアの再臨のとき）

7

この預言をユダヤ人たちが認める日が来る。そのときの彼らの告白

B) 今まで自分たちは信じてこなかった・・・

C) 確かに彼は私たちの罪を負った

D) 痛めつけられても口を開かなかった。彼に罪はなかったのに

E) 神の計画

8

A)メシアは成功し高められるが、その前に苦しみを受ける

「見よ、わたしのしもべは栄える。彼は高められて、上げられ、きわめて高くなる。多くの者があなたを見て驚き恐れたように、その顔だちは損なわれて人のようではなく、その姿も人の子らとは違っていた。

9

そのように、彼は多くの諸国民を驚かせる。

王たちは彼の前で口をつぐむ。

彼らが告げられていないことを見、聞いたこともないことを悟るからだ。」

(イザヤ52：13～15)

10

B) 今まで信じてこなかった

私たちが聞いたことを、だれが信じたか。主の御腕はだれに現れたか。彼は主の前に、ひこばえのように生え出た。砂漠の地から出た根のように。彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うような見栄えもない。

(イザヤ53：1～2)

11

彼はさげすまれ、人々から のけ者にされ、痛みの人で、病を知っていた。

人が顔を背けるほど さげすまれ、私たちも彼を尊ばなかった。

(イザヤ53：3)

イエスを処刑した後の世代のユダヤ人たちも

12

C)確かに彼は私たちの罪を負った

まことに、彼は私たちの^罪病を負い、
私たちの痛みを担った。
それなのに、私たちは思った。
神に罰せられ、打たれ、
苦しめられたのだと。(イザヤ53:4)

病と痛み：罪にまみれているイスラエル民族（後のユダヤ人）の状態を全身が病気に冒されている人に比喻
(イザヤ1:4~6)

13

しかし、彼は
私たちの背きのために

刺し通され、手足を釘で、脇腹を槍で

私たちの咎のために

砕かれたのだ。人々からの悪口侮辱

彼への懲らしめが

私たちに平安をもたらし救い、解放

その打ち傷のゆえに、

私たちは癒された。罪を赦され清められた

(イザヤ53:5)

14

私たちはみな、
羊のようにさまよい、
それぞれ自分勝手な道に
向かって行った。

しかし、主は
私たちすべての者の咎を
彼に負わせた。

(イザヤ53:6)

15

D)痛めつけられても口を開かなかつた。彼に罪はなかったのに

彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが
口を開かない。屠り場に引かれて行く
羊のように、毛を刈る者の前で
黙っている雌羊のように、彼は口を
開かない。

(イザヤ53:7)

16

牢獄に入れられ、
裁判にかけられて、
彼は処刑された。
彼の時代の者で、
だれが思ったことか。
彼が私の民の背きのゆえに打たれ、
生ける者の地から断たれたのだと。

(イザヤ53:8)

17

彼の墓は、
悪者どもとともに、犯罪者たちの墓
富む者とともに、金持ちヨセフの墓
その死の時に設けられた。

彼は不法を働かず、
その口に欺きはなかったが。

(イザヤ53:9)

具体的に犯した罪は無く、
心の内側も正しく清かったのに。

18

E)神の計画

罪の償いのささげ物

罪

しかし、彼を砕いて病を負わせることは、主のみこころであった。彼が自分のいのちを代償のささげ物とするなら、未永く子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。(イザヤ53:10)

死から復活し子孫(信者たち)を見る

19

神のことは

「彼は自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。わたしの正しいしもべは、その知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を負う。」

(イザヤ53:11)

キリストは聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また葬られたこと、また聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと

(I コリ15:3~4)

20

神のことが続く

それゆえ、わたしは、戦勝品(王権)を多くの人とともに彼に与える。彼は強者たちとともに、それを分け与える。(イザヤ53:12a)

多くの人・強者たち=イエスの信者たち
イエスと共に神の国の共同統治者となる(黙20:4)
イエスは、諸国民の中に王を立てる。
イエスは全世界の王。

21

彼が自分のいのちを死に明け渡し、背いた者たちとともに数えられたからである。罪人のひとりに数えられたが、それは他の人の罪を負うため

彼は多くの人を義にし、背いた者たちのために、とりなしをする。」

(イザヤ53:12b)

死・復活・昇天を経て、イエスは今、天において信者たちのためにとりなしをしておられる

22

イエスの死は・・・

- 私たちの身代わりとして
- 私たちの罪を負うためであった
- これは、神のみこころ(計画)であった

23

そのことを信じた者を 神は・・・

- 義(罪のない者)と認め
 - 平安(神との新しい関係)を与え
 - 神の国に入れてくださる
- 神の国に入るときは、新しい体で4月イースター礼拝、復活について

24